

第 2 学 年 1 , 2 組 数 学 科 学 習 指 導 案

指 導 者 佐 藤 文 男 清 水 信 幸 三 浦 正

1 単 元 名

「平行と合同」

2 本 時 の 実 際 (1 / 2 0)

(1) ね ら い 星形の 5 つの角の和を説明することができる。

(2) 展 開

時 間	生 徒 の 学 習 活 動	教 師 の 活 動 (主 な 発 問 , 指 示 , 支 援 , 教 材 等)	
		主 体 的 に 学 ぶ 生 徒	支 援 を 必 要 と する 生 徒
1	1 学 習 課 題 を つ か む。 星形の印を付けた 5 つの角の和を求めよう。	学 習 課 題 を 明 確 に する。	
5	2 予 想 を 立 て る。 実際に分度器で測って和を求める。		
30	3 いろいろな方法で, なぜ 5 つの角の和が 180°になるのか考える。	なぜそうなるのかを考えさせ, 発表用紙に書かせる。 他の考え方ができないか考えさせる。	T V 会 議 シ ス テ ム による既習の確認を行う。
	センター側の支援…… T V 会議システム ・ 既習の定理を確認し, 使用できないか助言を行う。		
10	4 求め方を発表させて, モジュールブックにまとめさせる。	自分の考え方とどうか比較させる。	既習の定理を 1 つ 1 つ確認させる。
4	5 学習計画表に自己評価と感想を記入する。		

(3) 評価基準と評価方法

基礎基準	星形の 5 つの角の和を説明することができる。
深化基準	いろいろな方法で, 星形の 5 つの角の和を説明することができる。
評価方法	授業中の観察とモジュールブックの完成度で評価する。